

平成30年度 藤島ふれあい食センター運営委員会（会議録）

- 日 時 平成31年2月14日（木） 午後3時45分から5時00分
- 会 場 藤島ふれあい食センター
- 報告事項 (1) 平成30年度運営状況について
(2) 平成31年度学校給食費について
- 協議事項 (1) 平成31年度運営方針について
(2) その他
- 出席委員
本間積委員、去渡勝宏委員、佐藤希委員、齋藤美智子委員、佐藤奈美委員、齋藤眞貴子委員、百瀬裕慶委員、深澤一雄委員、押井新一委員
- 欠席委員
阿部律子委員、佐藤康子委員、後藤二三委員、成澤敏子委員、小野寺浩希委員
- 市側出席職員
所長 太田 功、所長補佐 菅原仁、主査 齋藤敬子、栄養教諭 本間早苗、
嘱託栄養士 渡會優子
- 公開・非公開の別 公開
- 傍聴者の人数 0人

1 開 会

事務局より開会。

2 委嘱状交付

委員に交付

3 委員長・副委員長 選出

委員長に本間積委員、副委員長に去渡勝宏委員を選出した。

4 委員長あいさつ

5 報 告

報告第1号 平成30年度運営状況について

事務局より資料に沿って説明する。

【質疑】

委員長：報告ではありましたが、ご質問ありましたらどうぞ。

委 員：衛生管理の中に書いてあります、資料 5 ページの保存食というのはどういうことなのでしょうか。

事務局：衛生管理基準に沿って、材料ごと調理する前の段階ですべて 50g 以上保存するのと、調理して完成した料理についても 50g 以上保存するということです。万が一食中毒等事故が起きた場合に何が原因なのかを追究するために、-20℃以下 2 週間保存することになっています。

委 員：食材を保存しておくということなんですね。保存食という言葉がよくわからなかったので聞きました。

事務局：はい。

委員：こことは直接関係ないのですが、私立幼稚園の鶴岡市の市長と語る会があったときに、給食のごま豆腐のことが話題になりました。「お父さんが法事でもらってくるごま豆腐はおいしいけど、給食のごま豆腐は美味しくない。」ということでした。子供たちにおいしいごま豆腐を出すということは、禍根を残すことになるのでなるべくおいしいごま豆腐を出すようにしてほしいという意見です。

委員長：子供たちはカップに入っているのでデザートだと思って食べていて、最後にたべているようでした。食べたことがない子もいて、ごま豆腐を食べる経験をするということで意義があると思っています。

事務局：ごま豆腐導入の経過について、説明します。食文化ということで鶴岡らしいものということでごま豆腐を考えました。ごま豆腐を学校給食用に作れる業者がいなかったため、木村屋さんをお願いして作っていただきました。今年で3年目になりますが、1年目は全市で同日提供としたため、冷凍でないと製造できないということで、冷凍品で納品していただきました。2年目は各センターごと提供日を決めて、冷蔵で提供することができました。市内は8000個のため冷凍での提供となりました。木村屋さんの箱に入ってきたので、子供たちはお菓子だと思ってしまうようでした。ごま豆腐と説明しても、ごまプリンとって食べておりました。最初に醤油のあんを食べてしまい、最後にあまり味がしないごま豆腐を食べるのでおいしくないと感じたのかもしれませんが。

しかし、苦手な子もいたしおいしいと言って食べた子もおりましたので、食べたことがない子がすごく多くて、体験ができたのは良かったと思います。冷蔵になったことで味は良くなったという意見をいただいております。ただ、本物を食べたことがある子は、本物と違うということがありますが、食べたことがない子にとっては知る機会になったと思います。業者さんも工夫を重ねて改善していただいております。

委員：わかりました。そのように伝えます。確かに本物を食べたことがあるから、おいしくないといったのだと思います。

事務局：その他に何かございますでしょうか。

なければ、次の報告第2号について所長よりご説明申し上げます。

報告第2号 平成31年度学校給食費について

事務局より資料に沿って説明する。

【質疑】

委員長：ただ今のご説明に対して何かございますでしょうか。

委員：たぶん保護者からの質問がでるだろうということでお聞きしますが、10月に消費税10%に上がることで改定があるのか。

所長：平成26年度の改定時は消費税が5%から8%に上がる分だけでしたが、今回は消費税分という考え方ではなく改定していますので、今年度はこの額となります。ただ、改定については今後の動向を見据えて行っていくものとなるかと思っています。関連して、他の市では検討しているものや様子をみているところもあります。鶴岡

市の場合は県内の市の中では低い方になっていますので、すでに、寒河江市は平成28年に改定し、小学校280円中学校310円ですし、現行の258円299円は山形市、酒田市と比べても低い額となっております。

委員長：よろしいでしょうか。

< 一同承認 >

5 協 議

(1) 議第1号 平成31年度運営方針（案）について

事務局より資料に沿って説明する。

【質疑】

委員長：ただ今説明いただきました運営方針について、ご質問はありませんか。

委 員：第3子無償化というのは、無償化される給食費を除いたものが学校へ請求されるということでしょうか。

事務局：平成30年度は全額給食費をいただいておりますが、平成31年度は無償化ということですので、学校で給食費を集金しないということですので、給食センターから無償化される給食費を除いて請求するということになります。

なるべくわかりやすく無償化事業を進めてまいりたいと思いますので、ご協力を宜しくお願いします。

委 員：来年度の運営方針がしめされましたが、全国的に栄養摂取基準について充足していないということが話題になっていますが、ここがそのことで悪く言われたくないと思っているので、運営方針にも栄養摂取基準を守っていくということを入れた方がいいのではないかという意見です。

事務局：はい。報告第2号でも栄養摂取基準という言葉がでておりますが、マスコミ報道で充足率ということが出たことでのお話だと思っておりますが、資料に栄養報告をつけておりますので、このことについては栄養教諭の方からご説明いたします。

事務局：学校給食の基準に沿って献立は立てております。このことは今に始まったことではなく、以前から課題になっていることで、言い訳のようになってしまっていますが、一日3食ですので、三分の一の栄養が取ればいいわけですが、国民栄養調査の結果が学校給食の基準に反映されている傾向があります。カルシウムは一日の半分、ビタミンについては40%、ほかのものは三分の一となっております。例えば、大豆製品は食べているが豆類を食べていないという結果が出ると、大豆製品と豆類を分けて報告しなさい。というように国の栄養調査に影響を受け、摂取基準が改正される状況です。学校給食費も限られているため、厳しい基準の中で、どこのセンターも十分に検討しながら献立作成を行っていると思います。今後も基準に近づけるように頑張っていきたいと思いますので、ご理解いただきたいと思います。

委 員：今話を聞いて、基準が変わっていくということで、それに合わせていくことが難しいということがわかりましたので、そのことも私たちが伝えていきたいと思っております。

事務局：栄養報告の充足率は%になっておりますので、許容範囲の中でありますのでご理解いただきたいと思っております。

所 長：テレビ番組で仙台あたりの充足率がすべて100をきっているということで、山形にも照会がありました。実態としてカルシウムが足りていないということをお話ししましたが、給食費を改定したことですぐに解消するかといえばそうではなく、中学校にチーズを加えるなどで基準に近づけたいと思います

委員長：それでは、運営方針に文言を加えなくてもこのままでよろしいでしょうか。他に何かございますでしょうか。

特になければ、平成31年度の運営方針の案を取っていただいてよろしいでしょうか。

< 一同承認 >

委員長：協議については以上で終了します。

7 その他

委員長：事務局からありますか。

事務局：特に準備しておりません。

委 員：配膳の際にお盆を余分につけて頂きたい。

事務局：検討いたします。

委員長：このことについては、次の給食主任会で確認したいと思います。

8 閉 会

事務局より閉じる。